

2012 年度 特定非営利活動に係る事業報告書

特定非営利活動法人

ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

1. 事業の成果

- ・ 前年度に引き続き、千葉県県民活動促進事業「民が民を支える仕組み構築モデル事業」「寄付促進体制整備事業」を受託実施した。「民が民を支える仕組み構築モデル事業」では、市原市、袖ヶ浦市、千葉市において、人材、資金、物品といった地域資源を市民、NPO、企業間で相互に活用できるような仕組みづくりを進めた。また、「寄付促進体制整備事業」では、寄付の掘り起こしを進め、団体の資金調達力を高めるための事業を行った。
- ・ 千葉県県民活動促進事業「県民活動基盤強化事業」では、「NPO支援組」（NPO法人子ども劇場千葉県センターとの共同団体）として講座講師を担当し、団体の個別相談に対応した。
- ・ 前年度に引き続き、「四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業」を受託実施した。四街道市みんなで地域づくりセンターの運営を行い、様々な事業を企画・実施するとともに、センタースタッフの研修を通してセンター機能の充実を進めた。
- ・ 「地域資源循環システムちばのWA！」事業に取り組み、「公益ポータルサイトちばのWA！」への登録呼びかけ、物品提供システム「NPO三尺店」の運営を行った。「一般財団法人ちばのWA地域づくり基金設立準備会」は財団設立に伴い発展解散した。
- ・ NPO法人地域創造ネットワークちばの事務局を担当し、実行委員会形式による「ちばユニバーサル農業フェスタ」を開催した。また、千葉県県民活動促進事業「ボランティア体験の場づくり事業」を受託実施した。
- ・ 団体の自主事業としてはNPO応援講座の開催や相談対応を継続して行った。

(1) 市民活動・市民事業に関する情報の収集と提供

広報事業

- ・ ニュースレター「つぎの一步くん」(44号～47号)を年4回発行し、会員のほか、県内外の市民活動センター・中間支援団体等に配布した。紙面は、NPOクラブの事業報告、一般財団法人ちばのWA地域づくり基金の報告等で構成し、毎回1,000部発行した。
- ・ 掲載する情報を会員から広く募集し、メールマガジン「通信・一步くん」を月2回配信した。
- ・ ホームページ、「公益ポータルサイトちばのWA!」、団体ブログ「NPOクラブの愉快的仲間たち」、Facebook ページを適時更新した。またツイッターでの情報発信も行った。

(2) 市民活動・市民事業に関する講座

講座・講師派遣事業

- ・ NPO 応援講座「事業報告書作成」(2 回開催)「NPO 会計の基礎知識」「NPO 運営のリスク管理」4 講座を企画・開催し、参加人数は合計 64 名だった。
- ・ NPO と行政との協働に関する研修会や団体のマネジメントについての講座の企画、講師派遣を行った。
- ・ 平成 24 年度千葉県県民活動促進事業・基盤強化事業で、「NPO 支援組」(NPO 法人子ども劇場千葉県センターとの共同団体)として、会計管理、情報開示についての講座講師を担当するとともに、団体の個別相談に対応した。

(3) 市民活動・市民事業を行う団体の運営、活動に関する連絡、助言、援助

ちばのWA！基金「一歩くん募金」(市民活動支援基金)

- ・ 2012 年 5 月の一般財団法人ちばのWA地域づくり基金の設立をもって、財団事業に移行した。

相談事業・NPOの支援事業

- ・ 事務所で日常的に相談を受け付け、「会計」「事業報告書の作成」「活動団体の紹介」「法人の運営」などの相談に対応した。事務所での相談は 30 件、四街道市みんなで地域づくりセンターでの相談は 68 件、年間で 98 件の相談件数となった。
- ・ 佐倉市市民公益活動サポートセンターの相談会で相談対応を行った。

NPOと地域のためのコーディネート事業

【民が民を支える仕組み構築モデル事業】

- ・ 平成 23 年度に引き続き、市原市、袖ケ浦市、千葉市をモデル地域として、企業・市民・社協・地縁組織・NPO等をメンバーとする運営協議会を 3 回、プロジェクト会議を 6 回開催し、地域やNPOの状況に沿った内容での事業運営を行った。
- ・ NPOへ理解や寄付をすすめることを目的に、カンパイヤリティキャンペーンを 9 月、1 月に実施した。(寄付総額 349,495 円、寄付先団体延べ 28 団体、協力店舗延べ 64 店舗)
- ・ 募金箱 (13 団体に 23 個を提供、10 店舗に設置)、寄付付き自販機 1 台を設置した。
- ・ 企業から事務機やイスの提供を受けNPOに寄付したほか、情報誌掲載情報によりボランティア参加が 2 件あった。
- ・ 企業や市民の地域づくり活動への関心を高め、参加や支援の広がりをつくるために、地域の課

題についての記述や数値的な根拠を記載し、それに対する活動を行っている団体の紹介や支援、参加を求める事業内容を掲載した情報紙「Our Smile」(3回)を編集発行した。

- ・ 地域や社会のニーズに沿った事業を組み立てるための連続講座「NPOマーケティング講座」(受講者15名)を開催した。
- ・ 企業の社会貢献活動をテーマにしたセミナーを開催(参加者52名)、講演とグループディスカッション、団体の活動展示を行った。

【寄付促進キャンペーン事業】

- ・ 県内でファンドを運営している団体をメンバーにした「ファンド運営者会議」を4回開催し、各団体の事業内容を共有するとともに、寄付を促進するための事業内容について協議した。
- ・ NPOへの理解と寄付促進を目的としたサイト「CHIBA KARA」を構築、オープンした。
- ・ 寄付獲得のためのノウハウをテーマにしたNPO向け講座「ITで拓くファンドレイジング〜こう使えば増えるあなたの団体のファン・寄付者」(受講者25名)を開催した。
- ・ 募金箱の設置等を行い、県内NPOの寄付募集の活動を促進した。
- ・ フォーラム「だれもができる『寄付』のカタチー思いをのせたお金を活かすー」(参加者41名)を開催、寄付の仕組みの先進事例を共有して寄付の必要性、重要性について認識する場を持った。

【基盤強化事業】

- ・ NPO 法人子ども劇場千葉県センターとの共同団体「NPO支援組」として、県内NPOの基盤強化を目的とした講座の開催や個別相談を実施した。
- ・ 県内の市民活動支援センターを対象にした講座を開催するとともに、9カ所の市民活動支援センターの運営等に対してのアドバイスやヒアリングを行った。

【ファンドレイザー育成事業】

- ・ NPO 法人日本ファンドレイジング協会からの依頼を受け、講座運営に協力するとともに、県内のファンドレイジング事例を紹介する冊子「ファンドレイジング事例集 in ちば」の編集を担当した。

【四街道市みんなで地域づくりセンターの運営】

- ・ 四街道市の委託事業として、みんなで地域づくりセンターの運営を行った。センター事業の企画・実施、センタースタッフの研修を通して、センター機能の充実をすすめた。
- ・ 地域づくりサロン「作っちゃおう！ご当地グルメ」の開催をもとに「よつグルメ研究会」が立ち上がり、四街道産品を生かしたグルメづくりに取り組んでいる。
- ・ 地域づくりサロンとして、「自治会情報交換会」を継続開催するほか、あらたに「子ども支援団体交

流会」「市内ウォーキングマップ活用交流会」を開催し、市民・市民活動団体、関係機関とともに地域づくりにつなげる意見交換の場をつくっている。

- ・ 「福祉施設紹介・販売フェア大きなテーブル」「夏休み小学生ボランティア体験」を引き続き開催、ボランティア体験の場づくり事業での講座開催から、「地域づくり体験プログラム『コラボラ』」を開催した。
- ・ センターのホームページを開設した。また、市民活動団体の情報通信・情報開示を豊かにするため、「地域づくりのための Facebook 活用講座」や「公益ポータルサイト『ちばの WA!』での情報開示のススメ」を開催し、センターで活用のサポートを行った。
- ・ 「発見！四街道の「いいね！」四街道の魅力を考える 3days」（いすみライフスタイル研究所の活動紹介と現地見学会）を開催し、キャッチコピーをつくるワークショップを行った。
昨年度の「子ども記者育成講座」をもとに誕生した「四街道子ども記者クラブ」や、公民館事業「あさひ寺子屋」企画・協力において、社会人や大学生・高校生などの参加が多く得られた。
- ・ 四街道市みんなで地域づくり事業提案制度「コラボ四街道」の説明会や相談会を開催した。

【地域資源循環システムちばのWA! 事業】

- ・ 「公益ポータルサイトちばのWA!」の充実をはかるため、「ちばNPO情報館」への登録呼びかけを行った。「ちばNPO情報館」での情報開示が千葉県県民活動促進事業の支援対象団体の要件となっていたこともあり、登録団体数は176団体となっている（前年度末95団体）。
- ・ 企業、自治体、NPO等をメンバーとする「一般財団法人ちばのWA地域づくり基金設立準備会」を4/4に開催、財団設立にともない発展解散した。
- ・ アリオ蘇我「学びと遊びの工作クラブ」では、コーディネーターとして係わり、県内の子ども関連、環境関連団体による活動のアピールとして、夏休み期間中の3日間開催し、計223名が参加した。

【公益ポータル推進事業】

- ・ I I HO E [人と組織と地球のための国際研究所] が呼びかけ人となって11/10に開催された「地域づくり支援」を進めるための準備会議に参加し、地域づくりを進めるためのネットワークづくりや中間支援NPOの役割等について、県域を越えたメンバーで意見交換した。

【福祉作業所ものづくり応援プロジェクト】

- ・ 前年度2月に発行した福祉施設商品の共同ギフトカタログ「千葉のいいものカタログ（テスト版）」の実績は、5か月間で147点251,150円となった。
- ・ 平成24年度赤い羽根募金より10万円の助成金を得て、「千葉のいいものカタログ2013冬」5,000部を作成し、実績は3か月間で94点214,200円となった。

【景観フォーラム】

- ・ 「景観まちづくり千葉協議会」を継続して開催した。県との協働事業「景観を大切にしまち

づくりフォーラム」をきぼーる（千葉市）で 3/23 に開催、小湊鐵道、いすみ鐵道・久留里線沿線の鐵道会社の事業とNPOの活動をアピールするためのフォーラムと展示（3/18～3/23）を実施した。

【浪江町復興支援員モデル事業】

- ・ 福島第一原発から 20 km圏内にある浪江町は「計画的避難区域」に設定され、全町避難を余儀なくされている。千葉県内では約 600 名の町民が避難生活を送っており、生活の不安を抱えている町民の暮らしを支えるために、8 月から浪江町千葉県駐在として復興支援員が 3 名配置された。公益財団法人東北活性化研究センターおよび浪江町役場からの受託事業として、復興支援員の活動のサポートを行った。

【NPO法人地域創造ネットワークちばの事務局業務】

- ・ 地域創造ネットワークちばとの委託契約に基づき、事務局業務を執行した。
- ・ 第 6 回総会を 5/22、理事会は 7/24、9/25、11/27、1/22、3/26、4/23 に開催した。
- ・ 農を通じて様々な人たちが出会い、交流し、働きあう「ユニバーサル農業」を広めるために、ちばユニバーサル農業フェスタ実行委員会を継続して運営した。「第 2 回ちばユニバーサル農業フェスタ」を 10/20 にホテルメイプルイン幕張で開催、45 団体が出展、1,800 人が来場した。
- ・ 千葉県ボランティア体験の場づくり事業を受託、市原市、山武市、四街道市で開催した。「ボランティアマネジメント講座」37 団体/97 名、「マッチング交流会」2 会場で 18 団体/40 名、「体験受入れ」17 団体/62 名の実績となった。

【ちばNPO協議会の事務局業務】

- ・ ちばNPO協議会の事務局を担い、幹事会の開催、「房総コミュニティビジネスモデルツアー」「NPOとの交流体験セミナー」「NPOの日リーフレット配布」を協議会幹事団体とともに企画、実施した。

【風の村ファームの取組み】

- ・ 生活クラブ生協の生産者の畑（八街市八街）の利用者募集と事務手続きを行い、利用者交流会を開催した。

他団体との連携・協力事業

- ・ 日本NPOセンターと損保ジャパンが協働で実施する希少生物保護活動「SAVE JAPAN プロジェクト」事業を受託、ホテル観察会（7/31、8/7）や保全活動（11/4）を四街道自然同好会とともに企画実施した。
- ・ 生活クラブ千葉グループ連絡協議会およびユニバーサル就労ネットワークちばに参画した。
- ・ 千葉県NPO支援組織ネットワーク会議に参加し、県内 19 市町村が設置する市民活動支援センターとの連携をすすめた。

- ・ 公益財団法人京都地域創造基金実施の経産省補助事業「東日本大震災復興ソーシャルビジネス創出促進事業」に参画、「市民コミュニティ財団」設立を目指す全国の中間支援NPOと財団を設立した 12 団体間で、社会的な意義、ノウハウについて共有した。
- ・ 一般社団法人ユニバーサル志縁社会創造センターの運営に参加した。
- ・ 国交省の社会資本整備審議会道路分科会関東地方小委員会に就任した。
- ・ 千葉県ITリーダー養成講座の有志をメンバーとする「ICTシェアーズちば」の事務局を担い、Facebook 活用講座等の開催や講師依頼に対応した。
- ・ 千葉県NPO活動推進委員会、千葉県協働アドバイザー委員会に参画した。
- ・ 市原市、四街道市、浦安市、四街道市、栄町、千葉市、山武市、八千代市、船橋市、印西市、富里市の委員会等に市民・NPOの立場で関わった。
- ・ 「東北圏地域づくりコンソーシアム」の依頼を受け、福島県浪江町から関東圏に避難している町民への取材協力を行った。
- ・ 東京成徳大学「キャリアデザイン実習」として、8月に3年次学生2名をインターンシップ受入れた。

2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(円)
市民活動・市民事業に関する情報収集及び提供事業	【広報事業】 ・ニュースレター「つぎの歩くん」の発行 ・メールマガジン「通信・歩くん」の配信 ・団体ホームページ、ブログ、Facebook 等での情報発信	年 4 回 毎月 2 回 随時	当事務所 当事務所 当事務所	2 名 1 名 2 名	会員 145 名 他多数 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 会員 145 名 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体	72,000
市民活動・市民事業に関する講座事業	【講座事業】 ・NPO 応援講座	通年	千葉市	7 名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 4 講座 受講者数 64 名	113,244
市民活動・市民事業を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言または援助事業	【相談事業】 ・事務所での相談対応 ・四街道市みんなで地域づくりセンターでの相談 ・佐倉市相談会 【民が民を支える仕組み構築モデル事業】 【寄付促進体制整備事業】 【基盤強化事業】 【ファンドレイザー育成事業】 【四街道市みんなで地域づくりセンターの運営】 【地域資源循環システムちばのWA!】 【公益ポータル推進】 【福祉作業所ものづくり応援プロジェクト】 【景観を大切にしまちづくりフォーラム】 【NPO 法人地域創造ネットワークちばの事務局業務】 【ちば NPO 協議会事務局業務】 【風の村ファームの取り組み】	通年 通年 11 月 通年 通年 通年 通年 通年 通年 3 月 通年 通年 通年 通年	当事務所 四街道市 佐倉市 千葉県内 千葉県内 千葉県内 千葉県内 四街道市 千葉県内 千葉県内 千葉県内 千葉県内 千葉県内 千葉県内 千葉県内	6 名 6 名 2 名 4 名 4 名 4 名 4 名 7 名 5 名 2 名 2 名 2 名 6 名 2 名 1 名	市民活動・市民事業を行う団体、市民一般 相談件数 30 件 相談件数 68 件 相談件数 3 件 市民一般、県内企業、市民活動・市民事業を行う団体 市民活動・市民事業を行う団体 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 入館者総数 5,933 名 相談件数 68 件 県内企業、市民活動・市民事業を行う団体 登録 176 団体 全国の中間支援組織 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体、自治体職員 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 市民活動・市民事業を行う団体 市民一般	25,071,452
<p>他団体との連携・協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本 NPO センターと損保ジャパンが協働で実施する「SAVE JAPAN プロジェクト」事業を受託、四街道自然同好会とともに企画実施した。 ・生活クラブ千葉グループ連絡協議会およびユニバーサル就労ネットワークちばに参画した。 ・千葉県 NPO 支援組織ネットワークに参加し、県内 19 市町村の市民活動支援センターとの連携をすすめた。 ・ICT シェアーズちばの事務局を担った。 ・東北圏地域づくりコンソーシアムの依頼を受け、浪江町役場発行の「広報なみえ」の取材協力を行った。 						

